

Campus®

NOTEBOOK

Campus notebooks contain the best ruled foolscap suitable for writing.

A 普通横罫

いわき天体観測所

日誌 (3)

1986. 1. 1 ~ 1986. 11. 30

1/2(木) ~ 1/3(金)

謹賀新年。

庭下ぎに家内と到着。初めての 2人での 星見です。
そのせいか、夕方から雲が空を占め、ムシは見えず、見えなかったり。
しかし、2度近くは尾のハッキリと見えたり、すばらしい一言。
今年は、初詣に行く。足を社かして帰るという。不運に元旦から
見崩れ+土のひ縁起ものムシを占めれば厄払いをした。というわけ。

朝4時すぎに眠りながら、6時半に観望。
ムシのトキトキ星が8等級で見えています。

同行の他1名は、朝までよく寝ていました。一度、ムシは見えたようですが。

今年の目標は、家内安全と健康第一という事に ^測 絞らなくてもいい
と思っています。何かのこころ、成長を期待したいと思っています。

(市村)

1986.1.3(金) ~ 1.4(土)

1.3は結局 晴れず ダメ。少し酒を飲んで不夕。
14 朝の天気予報では 今日もダメ そうなので、
さんが 本 帰るとのことなので 同乗されるでもうことにした。よかつた。
(さん 1-2に一度帰って(子供さんを帰す為) 昨日 また 来たので?)
さんには みそ汁や こはんを作っていたいてごちそうになりました。
本当にありがとうございました。
拙者は この辺で 失礼します。

1986 1月10日 ~ 11日 (日)

今回も7日間 いれか 前半はあまり晴れずによくなかったが、
4日5日と日晴れて 尾のあふハレーを写す事が 出来た方々!
極軸曲もほとんど合っており ライトシユミツで十分の露出は充分
じょうぶだ。ハレーが 行ってしまった。銀河系外星雲を写し
たいと思う。

1986. 1/5(水) ~ 1/6(木) 快晴 市村

卒業生と友人の息子を連れて、ハレーを見に行きた。やてきました。
一晩中、ほぼ快晴で、十分、楽しむことができました。

ハレーは、尾がよく見えて、3月にお子 勇筆を予感させます。

3学期は、忙しいので あり、採り出しせしが、採所の皆さんが
素晴らしい 成果を挙げられたことを 祈ります。

1986 1.6~7 晴 快晴 気温 -6.0℃

朝 早くから ものすごい強風になった。
回りの木々をバタバタとゆらし続け、(農作業)小屋
で寝ていた 先生は 今にも倒れるのではいか
と 思っ て 目を覚ました。そうして。
館、別小屋に寝ていた 物は 建物は大丈夫でも
屋根が はがさるのでは...と少々心配にはなつた位
しかし、さすが、かの 田中政明氏入設計。寝てい
ても 建物 が 曲がる ことはなかった。←(当然だ
とは 田中氏の声...)

さてさて、皆 梯が お帰りに なって お空梯も
安心したのが 昼間 おおつた雲も夕方には
ウソのように なくなつて、ハレーさんが 見え始
める頃には ぬける ふう 透過 明度の良い空に
なつた。

早速 ハレーに向けて シャッターを切り、いった
のは いうまでもない。と、3が 以前から 心配
していたことが 現実になつて しまつたと 考へて ほう。
というのは 夕空の 飛行機 の かりこくた。10分向
露出、している と 必ず 1機ぐさ 画面に 飛び込ん
で きて しまつた。もっとも ハレーも もう 少して
朝方に 回るから、ハレーに 対して は かまわぬ
のだか...。

夜 9時ごろから、年賀状書きを行う。はに13
東京の自宅でも 作るべきか なく、もう 松の内も
終るといふ 今頃 書く なくて、今年の忙(さが)
目に見えようた。

1月 11~12日

今回来るのは今年初めてです。来る時友部SEでハレーを見ました。SEで観測したのは我々が初めてでしょう。PM 8h 30mに到着して[]さんの所へ氷をもらって行った。ひや酒をゴソフエハイも飲まされて、ヨブバライ運転をしてみました。

それにしても、かわいこちゃんが一人居るとずいぶんがっまいますねえー。今回は非常に楽しかった。

1月18~19日

田中さんと市ヶ谷で8時45分に待ち合わせと申すも12におかず中へ走り出して12kmオーバーのフサーはまったく鳴らずに3時間半で着いた。東京の天気予報では下り坂という事だったのでいい感じに着くと快晴さつき字真を撮れるかった。前回来た時電池が寒さの為に弱ってしまいガイドに失敗したためAC→DCアダプターを持って来た。赤道儀に接続する時プラスマイナスが分からなくてむやみにしたからみごとく回車してくれなかった。これからはモーターの回車はあまり気にしないで撮映するとかでいい。M35をねらって10cm f5.5のマクストフのピント出しをした。うまく写ったのはいいけれど。今朝から快晴、今夜もやりたいのだけれど田中さんが帰るなければいけないのでなみたもんで帰る。赤道儀モーターがちゃんと動くように修理してスムーズに使えるようにする。あとは、ドウニスラエイトだけ。12cm双眼鏡、くもり止め工作のため持ち帰ります。

1986. 1. 18~19. 快晴 気温 -5.5°C

田中 []

[] 西村 両氏が今回来て調整してくれはすた。たが、2人芝来しおなくなり、仕入れしに [] 氏とギアヘッドを [] 氏が預りやってきた。

いよいよ今回こそ雪おろしがはと息ってまたがとこるが、と、こ、雪はまたくなく、R289モスイスイ。今年の冬はおかしいのかな？何年か前の大雪がうっのようた気がして、

350型のギアヘッドの取り付けについて、モーターについている歯車のネジをどう所締め？取り付けたところ。今度は回り出した!!

ということは赤道儀の回車1はからたのはモーター軸先の歯車のネジのゆるみということになるのかな？もしかして、又回らなくなる恐れもなきにはあらずなので、もし、回車音がおかしくなったと必ずモーターを止めて下さい。

また、また、コントローラー、モーターについては不安があります。そのため、外から歯車が見えるように透明アクリル板を取り付けることを考えています。

田中

1986. 2.1 ~ 2
天気 晴 月夜 少く 曇り
気温 -7.0℃ ~ -4.0℃

下玄のたぬに時頃にはAが出てくるというのに
今回も言調整のため来所。

前回までの様子では小恒星時運転してないこと
のこと。今回は「動かす秋葉祭」
行してやった。(人らと合わせず)

書いてすぐA氏がコントロールボックスの基盤
を交換するためモーターのスイッチを入れ替えたところ
は、……なんと今度は赤経ギヤがカウ回りして
いるではないか？ 前回の赤経ギヤとまったく
同じ症状だ。また、ギヤヘッドが原因だろうか？

A氏がコントロールボックスをはずして基盤交換して
いる間、恒星時運転もできなかった。ギヤヘッド
から連結している最初のギヤを1枚はずして
今、思案中である。(2/1 AM 1:40)

(高島氏の作業を
見学したから)

A氏の基盤取りかえが済んで、負荷のかからな
い状態で回るかどうかためてみたところ、今度は
しっかり回ってきた。となると、モーターかギヤヘッド
が原因か。

例によってギヤヘッド、モーターをはずし、モーター軸
についている最初のギヤの固定ネジを締める
ことにした。

さて、結果は？ いかん？

はーんと今度はちゃんと動き出して来た
ではないか？

ところで、この時点で思い出したのだが、前回
なんか回った、赤経が、今度は動かさなかった
気になった。そこで、回してみたら、
セクピクと、やき気はあつたが、さっぱり回ら
ない。仕方ないから、赤経もくわしてみる
ことにした。

ネジの締め付けをしっかりと確認して組み直し
動かしてみた。……やっぱり動かさない
(回らない)

A氏に確認したところ、赤経と同様、赤経も
バランスが合っていない状態で動かしたとのこと

私の推察するところ、赤経、赤経共、例のA氏
事件前後、モーター軸を固定するネジの山がすり
減って、ちょっとした力を加えるとカウ回りするの
ではないかと思われる。

[結論]

前か、古田氏と話していた、押しネジで固定
する方式ではなく、貫通ピンで固定する方法に
変えたため、今回、赤経、赤経ともモーター
をはずして、いったん持ち帰ることにする

2/10

外は雪が少し散らつく天気、
昨夜から薄くムヤムヤかかたような天気である。
昨夜一晩、徹夜を過ごしてしまふ。
各種の気圧配置、強い偏西風が吹いてくる。

3月の中旬に、コタツを持ってきよう。

市作。

1986. 2. 15~16 歳、くわんてい、気温 -6.0℃
田中

東京は午後には強い雨が降ったが、夕刻頃には
天気は回復のさざなみがあるが、今度は例年の冬型
が強くなりそうだという。

ここに来る途中、雪道になったのは「はなれ」
の橋を過ぎてすぐのころだった。東京を途中
の11時に出発してここに着いたのが3時すぎだから
約4時間の道程だった。真冬はたいてい
こんなものだ。

さて、今回の来所17の予定は113113であった。

- ① スライドカメラつき1人で測計されるように少し
手を加えること
 - ② 赤線ギヤのカメラ合機せの調整
 - ③ ユニットカメラのセット出し。
 - ④ ライトユニットカメラのセット出し込み。
- そして、ツバーン
- ⑤ ハシ—葎星を捕えること。

このうち完了できるのは、果たして「くわん」?
きまは一人占めなので、オチオチ、くわん、

1986. 2. 16-19 天気 快晴 気温 -9.0°C
田中

いもはも 今回の来所は大変だった。
土曜、日曜で帰るつもりが結局月曜日
までいることになった。もう帰る時間が遅く
なるので 列記だけしておく。

① 車のトラブル、アクセルが氷で凍ってしまって
エンジンがかからなくなった。凍ってしまった。
(凍ってしまった鉄工所の車に引いてもらって
ようやく帰った)

② ^{市役所}ギヤの調整 → 結局、全部バラすこと
に決ってしまった。延べ5時間以上かか
って調整、ガクガク復活させたつもりです。

③ 雪のため温泉の往復に3時間!!
(フェーンをつけていたため、30km以上出たのか?)

④ さて、ハレーはまだ見えなかったこと!!
東の方のちやうど一番高い所から出てくる
のだった。出てきたときにはもう空は明け
ている確認できません。

まだもう時間が無い (2/19 PM 6:00)

1986. 2. 19-20 天気? 気温?
田中

今日か明日あたりが2月のラスト4かそで
ハレー彗星の再見のために、平日はがさやってきました。

真夜中にはここに書くのは無理と判断。高森の
海岸でけさハレー彗星を捕えんとしたが、薄明
と雪のためはまた見ず。国内では16日か
再観測に成功している。

きょうと少し役目眠れてここにやってきましたが、
久しぶりの雪の多さに驚いた。さうして道路
作りと屋根の雪が引いたため、昼間は目一杯
働いた。

最後の仕事としてギヤの調整および市役
所への納品が終わったので、ほとんどイオから
お家に帰ります。そして終わったのが今PM 9時前
です。早く帰ると明日の仕事にさしつかえ

必、市役所モードへの回車が早まるようです。
追従テストができたので、この点については
次回来た時に。

1986. 3. 6~7 天気バク曇 気温 -5°C

田中 [redacted]

ハレー彗星が「いよいよ」見頃になる時が近づいてきた。写真に撮れるのは今日あたりからだと感じ、天文団を見ている。今、高気圧のまたたき中。ということは週末にはくずれる可能性がある!

というわけで本日本曜日日かゞもってきてしまった。

ところが、なんとしたことだ。東京を出る時かゞバク曇だったのが、それをそっくりここに引き連れてきたらしい。結局朝までバク曇。

それにしても前日雪をかいて道を作ったのに、もう見えなくなってしまう。

観測所の屋根は雪おろしたおかげでまったく雪はなし。前日

しかし、なんとしても、この2,3日のうちに必ずハレーを見るつもりだ。

1986. 3. 7~8 天気快晴→曇 気温 -3°C

田中 [redacted]

昨夜に引き続きまたまた平日(金)日かゞもって来た。

今夜こそはド快晴だあー / 東京を出る時はもちろんだ。ここに書いてかゞも実際、快晴だったのだ。

ところが、ガッポラメこそす。てから撮影準備に入った2時頃かゞ東の空に「た」雲が広がってきてしまった。そして、なんと朝までハレーのあたりをかゞしてしまっていた。

それでも4時半ごろ雲向に出たハレーを12cm双眼でちよとだけ見ることができた。

残念日かゞ写真は無理。

平日なので勿来祭 6時28分の特急で帰ることにして、ふもとへ降りてゆくと、なんと今度は雲が切り始めました。

ああ、なんとということだ……。

◎ 1986年3月8-9日

今回はじめて [] さんのウツサの新車であるファミリアフルタイム4WDでいゆきまでやってきた。さすが4WD。それと [] さんの運転テクニックで途中の雪もなんのその無事。今回もいゆきまでやってきました。さすがフルタイム4WD!! 私も欲しいが金がない! 免許もない!
今回は2月に未納だった為、2ヶ月ぶりの来所なのですが、不思議と久しぶりという感じが無いのです。たぶん、仕事が忙しかったりして時間の感覚がマヒしてるのでしょうか。

いゆきまではそれほど雪もたいてなかったのですが、観測所に入る所まで来た時、残雪がすごくとても車で入れない状態で、門のところに車を止めて荷物を運びこんだ次第。雪がなけいはいしたくないのだけど、足がはまりこんだり、こぼれそうになったりして結構時間がかかり、遠いなあと思った。

観測所について最初に我々の使用する外のコンクリートの所の除雪をした。それからハレーが昇ってしばらくして写真が撮れるように撮影の準備を終え、少し休もうということになり酒盛りをはじめたが、寝不足や除雪作業の疲れでいつの間にか寝てしまった(2時頃)。

あもててこんばんわ、という声がし、それで起きた。すぐ寝過ぎしてしまったことに気がつき、時計をみると、なんと4時20数分ではないか!

起こしてくれた人は地元の人で、昨夜電話で明け方おじやましてハレーをみせて欲しいといっていたのだ。この人たちがこなかったら我々は今回ハレーをみる事が出来なかっただろう。

さてかんじんのハレーであるが、やはり肉眼ではみえず、双眼鏡で探検がなかなかみつけられなかつた(高度が低い、モヤ?雲?が飛んでたりして)が、なんとかみつけてみたが、あまり大したものでもなく、それほど感動が起こらない。やはり肉眼でみえる様にならないと!! それにしてもこのハレーブーム、罪つくりになあと思ひます。

以上、ながながとくだらんことをかきました。おわり。

1986 3/8-9

早くも今年、三回目の来所である。(もっとも田中さんにはおなわなないが...)

愛車ファミリア4駆も納車40日にして3,400kmを走り、元気いっはいいである。4WDの為、タイヤは夏タイヤのままだがFRではチェーンを必要とする所でも平気で通れるのは非常に心強いものだ。あらためて4WDに感動し、購入して良かったと思わされた。

さて、空の方だが、雪どけのモヤがでていて、星が5等星が見えるが見えないかで、その上うち雲が流れていて観測準備をしただけで(いつもの事?)酒飲みに入ってしまった。

それでも4h30分に12cm双眼鏡でうち雲を通しハレーを見た。写真は写せなかつた。ハレーハレーと大さわぎをしている割に、たいしたことはない。やはり肉眼で長い尾が見えないと...。最近天文に對してやる気がなくなっているが、ハレーを見た余計やる気がなくなってしまった。こんなものを見にオーストラリアなどに40~50万もかけて行く人の気が知れない。

とは言いつつ、ハレーは現在、宇宙のヒーローなので、良い写真を一枚だけ写したいと思っている。天気が良ければ来週また来所する予定ではあるが、平日までハレーを見ようとする気はサラサラない。

1986年3月8-10日 追記

冷蔵庫内 その他に 食べ物が ころがって
ますが、その中に

野菜や生まものが長期間おいて
ありくさって 臭気をたたよわせて
おります。

野菜や生まもの 次に来所する人の為にとておい
新所する時の為。

ても 必ず 確実に来所出来る 訳とは限らない すぐ
誰かがやって来て 調理用品がないので 食べるこ
とは出来なく、その結果 くさってしまうのです。

野菜や生まものも 持ってきた方は 責任を
持って 持ち帰る (これはその他のゴミも同じ)
よう お願いいたします。

農作業小屋は 我々のものではありません。

てすから 余計 気もつかない けれども ならな
いのに、こんな 状態では、共同観測所と
しては 失格です。先が 思いやられます。

だれかがやるのではなく
みんながやるのです。

今回は 私が 某所に すぐさせてもらいました。

以上

次に 来所者が 気持よく 帰るよう します。

1986. 3. 10~11. 大気バタ曇 気温

田中

寒-冷前線の通過の夜と小さいながらも
高気圧がもってきそうであつたので、ナト
月曜日の夜!!!) ながさ、またまたやってきて
ました。

一般的には 晴れる確率は、とくに「冷気
は 絶対大丈夫」と思つても 50% 確率は

低いと考へているのだが、この所の確率
の低さには、泣いてしまう。もう3回連続
がメなのだ。

とは言つても 君の言うように、ハレー
は大1作ことがないので、見る気が ないとい
うことはない。

ハレーに限らず、彗星や流星群にある限り
毎日でも 追いかけてたいのが 彗星の思い
なものである。

1986年3月17日

エロウトの窓して一帯のハレーを思ふたかお手手した
 観覧バスは遅延手のつくりを参り手したか 右様の
 ちかいて一帯前の様は観覧に降ります。
 お世話のいかに2回中々の感謝申し上げます。

1986. 3. 19~20 外はドジャ降り

田中

実は明日から甘んじへハレーを良に出かけるので
 す。

どこ3か、東京には持て1000のき樺材がナニに1式
 ない!!

3月16~17日は来所した時 今週もう一度来れるだ
 ろうと全部ここに置いて帰ったのです。

仕事はいいから 今日取りに来たよなわけ
 今、20日午前1時。これから東京に戻って荷造り
 して5時半には成田へ向います。

無い、無い 寝るべしがない!!

相変わらずの超速窓スケジューリングの田中
 でした。

ここには4月始めにまた来ます。

そして4月5日から1週間 今度はオーストラリアへ
 行ってきます。

1986年3月20~21日

高橋士人の

A-3

今回は風が強かったが、車の窓枠を1つなく、発着のハレーを
 見たことができた。撮影は50mm 構構と200mmでハレーを
 5-2コマと3コマとできた。ハレーは風、天候、暗く
 70mm 10倍望遠鏡では(おまじ)と見たことができなかった
 肉眼での確認できなかった。

1986年 3月 20日~22日
(木) (土)

快晴 → 晴 → 曇

今日は連休前の平日に東京(南千佳)まで火車が諸々の事情で予定より出発がかなり遅れ午後7時近くに午12時を目的のハレー彗星を4本の(月没が2時過ぎ)あわてずは半全くなり、到着に荷物の運搬入れを12時に高橋さんから電話、「これからお昼に弁当の運びよしく」と一時帰宅して来た。(近くどうせらしい)

天気は良好だが湿度はすごい。透明度は冬の明けに近い。ハレーもまだか... と思... マ31の枝に女がはえをどう感じた(ホトは度かっつを株を1つ) 3月8~9に伊東(伊豆半)で見えた時は尾が2本のハレー彗星の様子がわからぬが今日は真横に1本しか見えぬ。尾の巨さは4と越えていた格に思われる。高橋さんの10x70や私の6mm双眼では尾がくっきりとバツリの空と分離できなかつた。12amで生視界が明る過ぎるやっか何少短かくしか見えなかつた

明るくなく21日という期待が思い込みを生み、ハレーが... あつたハレー... を引き起こす... と思... 350"に3人(高橋さん)で急遽... 取り付けた。25mライト... 巨大なスクリーンとして使用した。枝数を4つ... 結果は... ない。

22日の朝も期待して4時... 結局... ここに2泊... やす車がなくて1泊コースが最悪のよう... 早く帰りたい。

音藤 山ノ下

1986 3月 20日~22日

今回は純粋にハレーを見る為だけに来ました。ハレーを見れたのは20日の夜と言おうと21日の朝だけでしたが、一定... 在んとか尾まで見ることはできたが、それにしてもたいした事はないがとりあえずハレー地球大接近を見たので目的は達成したので、前回に引き続き天文に対してますますヤル気がなくなってしまう様な気がする。

しかし(雪どけもしたので)愛車ファミリア4駆でか... 飛びにこれからここに来るであろう。

22日PM1h. 昨日の夜やて来た私の友人とセリカ ツインカムターボでこれから八溝山の林道をせめに行くと予定である。

'86. 4/4(日) 4/5(土)

市村

今回は雨を承知の上で、おりました。 かねて言っていたとおり、
この「一式」を持って来たわけですよ。 軽自動車、下モノばかり
とまってきた。 何れ、軽で、ラクなドライブでした。

5月の連休に也てくる予定ですよ。

と、書いて、朝まで、^{1人} —————、と飲んでいたのが、
4時頃、外に出ると、 何と快晴!! なのですよ。

サソリ9 尾の下に、で、かいたが、ありました。

石のよう感じですよ。



ハレー

11時〜。 11時11時でした。

P.S.
にこり酒、少し残り残りました。 さりか、1-8はついで!
4/15くらいまでは、おいく余飲めよ'行ですよ。 12時で可か。
飲んでおいてください。 後は=日酔い-ですよ。

1986年 4月 5日(土) ~ 6日(日)

今回は何となく来てしまったので、二人が(市村と森田氏)
せめていれさで観測したいと言ったので、来たのが、実は
二人ともドライブを深しめた、丸々の口実の様です。
着いた頃(20時20分頃)は、全天雲があっただけ
一般に、この日は快晴に、この時頃から観測を始める
ハレーは、2時頃、木星のすぐそばに、この日、こきりた。
この場所でのハレーは、この日、境界のよう。 来週、ハレーは
左近、ここからは無理なよう。
今回も、一応、目的の達成した。

1986 4/5~6

R289 を 3速全開(それでも4,000回転にしか
なさらなかったが...) で飛ばすのは非常に
楽しかった。 R118が522分である。

まだ車に慣れていないのと、テクニクが
まだまだだ。 だが、その内、20分も切れるで
ある。 受車ファミリア4速に^{比べ}較すると、

ハレーのなんとも、きいたは、づれなことか!

1986. 5. 5 (月) 快晴のち曇り 気温13℃~9℃

久し振りのいちす観測所である。小諸へ行く予定であったが、天候の都合でしらへ朱のりである。友人の[]君と同行した。~~おたけ~~ 15時すぎに着いた。そこから田中(政)氏御夫妻が来所してきた。小諸から25cm F3.6のライトミートを運んできたので、三人で二階へもち上げ。無事、ミカゲ350赤道儀へのせた。

カメラ等をセットし、主鏡とファインダーの方向も合わせ後は暗くなるのを待つだけ。17時すぎ、雲が出始めだ。12時すぎ雲が、18時ごろ空全体に雲がかかり残念。19時30分帰った。

下館 新井 []

1986. 5. 5. バイオ

田中 []

今年の連休はロングローグ"ドライブ"で過ごすことにはった。

5月3日にここへ来てきて、それから小諸との往復。走行距離は1000km以上にはった。

350に載せるもの予定として25cm 510とミートF3.6を2台考えている。

これはサーベイ用に使う予定で、ミカゲも自動化して、コンピューターによる無人探査を実現する一歩となる予定だ。自動

なにかが今年の秋から使えるようにしたいものだ。

1986. 5. 10 (土) ~ 11 (日) 晴(時)ながら時々曇り時々
強い雨が降りました。曇り時々小雨。

1986. 5/10-11

先週は友人とミカホスーパー林道を走りに行き
先週は得土平 今週はここ。週末は家
いません。もう金がない。

PS: (1)おまじのCDプレーヤーが入りました。未所おまじは
CDを待たせておいて下さい。

1986. 5. 10 (土) ~ 11 (日) 曇り時々小雨 気温7~5℃

5月5日以来今年二度目の来所。初めての宿泊
電気毛布にふとんを持ち込み快適な一夜をおくらせ。

2ヶ月前から7ヶ月前の曇り空の下で入テイスユ
フィーバー。CDサウンドによる、ビートルによる、
もう大変でした。たまには観測の準備を休めて、
星仲間との親睦会も必要ですね。
有藤さんが撮った、写真を見せていただきました。
E-200を使った星図・星雲ですがさすがにすごい
でした。ピント調整もラフでラフな使用でも
十分可能なようです。空の暗さと相まってとても
おもしろいと思いました。

天気には恵まれていませんでしたが、楽しい一夜
でした。

下館 新井

1986. 5. 17 ~ 18 晴 気温10.0~8.5℃

田中

アメリカのロックホールツが5月12日に11年の歴史を
終結した。ホクホー明る目のものとしては今年

初めてなので「スロウ大変」とここ2,3日走り
回って来た。

昨夜は埼玉のステラ天文台で追跡し、本日は
ここでもやっていると聞いて。

ここ3日間、それくらい短い間は2時間
づつという超ハードな生活を17まで。ここに
来てやっと6時間眠ることができた。

このおな荒れた生活のためか最近めっきり
白髪がふえたような気がする。

私の知っている人で ~~は~~精神的苦痛の
ため一晩で頭がま、白にな、たのがある
が、どうにも老けるというのはやなもので。

ロックホールツ

5/17.453 { α 00° 40' 8" } 11等
 δ +38° 36'

5/17.95 { α 23° 52' 35" }
 δ +42° 18' 4"

発見

ロックホールツ

田中

1986. 5. 31 ~ 6. 1 天候バタ曇(濃霧)気温 14°C

田中

昨日までの雨もよが、てけさは久(ぶ)りの快晴
にはな。本日の月出は1時すぎなので、少しは
見えるはずと思わずうれくなる。

どこで本日の[]さんが結婚しました。
午後3時カゴ式が行なわれ、西村さん共々出席し
その足で、ココに直行して来たのです。西村さん
もあきれ顔で見送ってくれました。

どこでカゴ式が雪が広がり始め、ココに着いた
頃(23時過ぎ)にはものすごい霧で、ワッセ、
きカゴは雨の音のトタニ屋根を打つ音が激しく
なってきた。どうも今夜はダメなようだ。

まあ、それにしてもカエルの鳴き声の大きさはこと。
もっとも今頃の季節はいつもそうだし、これも慣れれば"
いいんわがらんどミョーシツ、で、いい眠りにつける
のわがらんど。

※ ココでコンクリートポンプ工事内の電磁干渉の
ハンダ付けが取りたため、持参して帰ります。
来週末に持参予定。

※ 南側の取りはずし式建具が湿気のためかた
くはっています。何かとあまり無理は力を加えず
ぎはいように。

1986. 7. 12 ~ 13. 天候雨トツタ降り

田中

久(ぶ)りの来所である。(1カ月半ぶり)
しかし気分的にはもう長いこと来なかったような気分。

たがい梅雨のま、最中なので、晴れ向かい
としても期待できない。今回の来所はいくつか
の荷物を持って来たのと、8cm厚折をい、た人
持ち帰るため。7/20の火曜日のため田川君
が使いたいと、事柄のため頼まれたため
である。

※ というわけであ、今 350赤道儀は
ガラスが全壊合、ていなので、使用
しないようにして下さい。7/20過ぎには
8cm厚折が戻ってくるので、よう。

1986. 8. 9 ~ 10

田中

たわ!

2年ぶりの観測所!! 赤いばねは壊れた!

星の見える日は

お天候、シロクは日可。

お天候、シロクは日可。

P.S. 市村さん、お天候、シロクは日可。

お天候、シロクは日可。

お天候、シロクは日可。

8月9日(土)~10日(日)

友人の新車 白のフルードで西村と一緒運んで来ていたらしい。曇り空と車の中で星は全く見えず残念です。去年は総会には出席して帰ってしまっ。今年も初参りの出席でした。今度来る時はと快晴でありますように

8月10日(日)

浄土平 蚤退で総会の為に来所。 ぶり

新妻

8/9~10

9日(土) 浦和駅 10時。誰か 20分遅刻して来た。理由は培養皿を池袋駅まで来た。10時15分には浦和駅に着いた。赤羽まで乗り換えるのを忘れていた。大層遅い行方だった。

11時はビール 500ml + 350ml を飲んで 朝9時30分おきして11時の11時。星と雲にまぶさ。何をいって来たか。4分ない。床に11時は火曜日。けいさくが来た。火曜も忘るに大きに飲ませる。9月11日は11時。11時15分には11時。

今年も夏休み。たまたま仕事か何かしてまわりの休みを。11時までは8月の下旬にまで。終りに思える。たまたま。14(土)も11時40分。行方不明。たまたま11時40分。11時40分には。全然 変な感じ。11時。---

西村

8/10

7~10日 浄土平の帰りに総会?(7人だけ)に出席。いわきは越え 浄土平は悪かった。からだがあかしくなりそう。早く帰ってビールを飲みたい。

8月10日(日)

獅子舞の合宿の帰りに総会のための準備。時間がかかるとかいて 終った。残念。白河川から観測所まで 友人の車を運転。オートバイに乗る姿はいいが 無事到着。よかったです。

8/10

3月から5月(5/11)に来た草がすくひ分りかっていた。きょうは総会が7名しか参加がなかった。もう少し参加が多ければいい。と思う。8月は天気が悪くてためです。9月の第一週にはまた来るつもりです。

8月9日~10日

天候 曇りの霧

田中

来週の夏休みには11日よ工事再会の予定が今日の総会で決まった。

畳を入れたり、内壁を仕上げたり。11日よとやることが多い。

まあ、のんびりとやりましよう。

結局 日曜の夜まで待たが 晴れる見込みがないので、帰ることにした。

8月11~12日

天気 曇時々晴れ

お金と暇が足りなくて、メンバーに加えても、2
から初めての星見(いんすの)です。帰省(福島)
の途中なのですが、ここから帰省の途中に
あり道かというパターンが多くなるようです。

ここに来る前は、主徒を引率して、八ヶ岳
山ろくの「甲斐大泉村」という所で天文合宿を
して来た(8/8~8/10)のようですが、雲が空を
ほとんど観測できませんでした。

今回はここに大望遠鏡で火星を見たい
と思、2来元のようですが、カメラ専用の望遠鏡の
ようなので断念しました。それでも、天のりも
よく見え、合宿のうらみを晴しました。

これから、御星(福島県、梁川町)へ帰るの
ですが、浄土平も近い(車で1時間30分ぐらい)
の、市村さんのいる間に11日見ようつもりです。

総会に出席できずすみませんでした。
来れるかどうかはわかりませんが、
工事の予定は心をお知らせ下さい。

1986. 8. 14. 天気 曇 気温

田中

先週に続いて、4日ぶりの観測所です。

昨夜は、スライム天文台にて、26センチ反射で
新彗星 Wilson を写したが果して写っているかどう
か? 11等前後なので場所さえまちがって
なければ写っているはず。たに13この彗星は
もしか1等以上の大彗星になるかも知れ
ないという、彗星なので、追いかけていければ
はいかはいかな。

さて、東京を出た頃(約6時)にはとこど
3時頃の自の女、夜空が、ここに書く頃には
全天ベタ曇になってしまった。

結局、1時頃には寝てしまった。

(結果) 朝までベタ曇だったようだ。—安心!!

田中

1986. 8. 15 (金) 積り夕曇り

女房と2人連れで、今年のお盆をここで過ごすことになって、今日で2日目。

昼間は12ビリと勿来の海へ行ったりして過ごした。

LPガスを入れようと思、て勿来の町で、聞き回ったが、売っている所がなく、結局、マキを燃やして夕飯を作ることになった。ところが、これがなかなか良いのだ。^火釜はブリキの丸カニを使い、マキは建物の残材を用いたが、すぐに湯も沸くし、焼きものもすぐできるのだ。これからはこちらにかき"る。

たによりいいのは自然の火を見つけたか"る^分思いに口けることが"できることだ。

観測所のメンバーに推めておきたい。観測に支障のない限り、自然の火を燃やすことを。

田中

1986. 8. 16 (土) 夜晴時々夕曇り

夜中2時すぎ頃、一時的に晴れたので、早速 Comet Wilson の撮影をした。しかし、1時前後ほどの晴れ間がなく、結局今回、これが唯一の星を見るチャンスだった。

午後から、買出しや温泉、工事の打ち合わせに走り回った。

日もとっぷり暮れて、観測所に戻り、恒例の屋外パーティを始める。

それにしても曇りの雨のま、た(さ)えは、空のため今夜の星見は希望の的か?

田中

1986. 8. 17. (A) 嵐雨、時々大雨

結局昨夜は星はち、とも顔を見させてくれず、
またクダマ。

今日も朝から雨もようの空のため、まず無理
だろう。工事の段取りもできたことだし、予定を
1日早めて今日帰ることにした。

[連絡]

- ※ 350赤道儀の目盛環モーターのギヤが甘たい
らしく、モーターが不調です。当分の間、なおるま
で、目盛環モーターは回さないで下さい。
- ※ 25センチライト (f850) で10分間の露出でも
星は少し流れるようです。恒星時がまだ完全
(東西に)
ではないようです。マニュアルユルトローにボック
ス内に調整ネジがあるので、これも近いうちに調整
します。

田中

1986. 8. 21 (木)

天気 霧 高橋

PM 7時ごろ、濃霧の中をすどい感で無事に観測所
に到着しました。少し休憩し、隣の高橋宅へ水と頂さ
に行く。.....

..... お酒をタラリ飲まされて? PM 10時にも
どる。濃霧は晴れそうもないので、明日に望みを託して
眠ることにする。

1986. 8. 22 (金)

天気 霧雨 高橋

昨夜の願いももたしく今日も霧、AM 9時ごろ濃霧の
中からトラックで大工さんが現れる。休憩室の押
入とダンス、そして内装の化粧へニヤを貼る為で
ある。下は晴れていても、朝日山にはこのところ
いつも霧がかかるとのこと。観測の望みはさらに
薄らいでしまった。化粧へニヤを2階に上げる作業
を手伝い、完成した押入にコンローター等の荷物
を入れる。そしてへニヤ貼りの邪魔にならない位
置に40cm鏡筒をおく。

昼、天候はいよいよ悪く、まるで嵐のような風
に雨と霧で、星を見ることは、絶望のようであ
る。

夕方、近くの温泉へ出かけ、1人300円の温泉
(ただし混浴)に入り、元気を取り戻して観測所へ
帰る。夕食は、焼肉である。

観測の望みも絶たれた我々(今回は私を含めて
5名のメンバー、酒名天会員3名と明星大学2名)は、懇
親会をし、持参の望遠鏡を組み立てることもなく、
夜中まで「さわぎ」、ついに「さわぎ」疲れて眠る

ことにした。

1986年8月23日(土) 天気 曇天・時々雨 高橋

観測所へ来る前日、8月20日(水)に海老名市内に20cm反射、18cm反射各1台と10cm屈折2台の計4台の望遠鏡を並べ、観望会(夏休みの子供と市民を対象)を実施し、半角欠けた金星と火星、土星、木星の雄姿を望を眺め、いわきでゆ、くりこれら惑星の横顔を写真に取ることに恒例の台宿を装って来所したのでした。しかし、石浜とも残念な霧で星1つもない天気になってしまいました。ただし、真夜中は霧たつこうのにまわりが明るいのです。これは、満月の恩恵のようです。

天気は悪く、とても残念ではあるが、霧は晴れて来た。

今回は、星は見えませんでした。充分休養できましたので、元気に帰宅することにします。

追伸 8/26(火) 9:30~13:30
おで停電デス

要注意のこと

1986.8.30-31. 秋晴時々曇り
田中

ここしばらくは天気が良い日々が続いていた。はたして、この週末はどうか、と心配したが、なんとか持ちこたえてくれたようで、ここに着いた夜11時頃は全天快晴。又ぶりの曇りは少ない星空だった。

とくにしても湿度がすごい。望遠鏡や双眼鏡は夜露でびしょ濡れ、しかもこまごま降りぬけてしまっている。

今回は、さくの友人も一緒に、たが、それは赤道儀の調整のため夜明けまでで、いたため、恒例の「グッドナイト宴会」には参加できません。

8/31日(日)の夜もいい天気になってしまったので、さくと共に残ることになった。2-3時までやって、朝に東京着。そして、超ハードスケジュールになるわけだ。

2階の休けい室に畳を壁、押入れができたので、便利になった。観測室の壁張りも今年中にはやる予定。

×赤道儀の自環モーターは調整のために使用可能とになりました。

8月30日~9月1日

米沢

総合会館の1ヶ月ぶりの車所 25cmライトユニットを
使って系外星雲をとるため車を 30日も31日も両
日とも晴れて夏にしてはめずらしく天気のいいわさ
だった。目視望遠鏡を使っての天体導入を田中さんか
そわてマスターした。これからは一人で来て350を
使えるわ。秋は冬に比べてバンバン写しまくるぞ

二階の内をうかがってきてほんとうに良かった。これで
今年の冬はこれくらいなかなかな観望期がでます
というわ。とにかくよかつた。何とかとわなみは早出し
りかよりとらうか車所いいわなみのかありを準こめ
ちか。今日は気分よく帰るこわでます。
来週の9月6、7もせつないた来りぞ。

86.9.7

昨日(わき入星をみくるとい確心を持って待合せ場所の
さん宅へ向かう。森口さんちへ出たのは午後1時30分頃。途中
から雨が降り出し、浄土平へ行くかという私は恐くて考えない
ようにしていた。案が[±]出て来てしまった。私はイヤだ、^{さん}さん
さんは浄土平へ行って晴れていなかば(わき入へ戻る
という意見となり、やむを得ず後者の案に従う車は
浄土平へと道路変更した 2対1で のだった。
スイソンは(走)屋さんが(いる)急カーブの連続でいつま
でもいやなところぞ。

浄土平には11時頃つき、晴れていたのですぐ写真撮影
態勢に入り、^{さん}さんは撮影、私は観望派ぞすが
いゆきに行く用意がしておらず、双眼鏡を持ってきてなかつた
ので、何もすることがないので 某女性歌手のテープを
聴いたり、ウトウトしたりしてすごした。

夜中の2時頃 急にくもり出し、(わき入)行って

ひと泊むりして帰ろうということになり、^{さん}器材をかたづけ
いゆきに向かう。浄土平の下りはいつもまいてしまう。
硫黄のにおい、急カーブ^{さん}あまけに寝不足で、
^{さん}さんと私は気持ち悪いを連発!

いゆきに着いたのは明け方5時頃。着いてすぐ(わき入)の
夜明けのビールを飲む。^{さん}さんは調子が出ず コップ
一杯で(わき入)に入った。我々も早く(わき入)に入ったが
気分が悪くまいった。

浄土平、いゆきのかけ持ちはハッキリいって狂気さた
ぞ。

国鉄の文句ではありませんが、出かける際には目的地
をハッキリいって出かけてませう。

ハッキリいって 今回は あたまフツツン!の連
続でした。

おしまい。

86 9/7

今回はハードスケジュールとなつてしまった 9/6 AM11:30に
自宅を出発し(→^{さん}宅(ε/60をみた)→R6 118と下の道を通
ていゆきへと思ひませ、どけ降りの雨だったので 万一の敷希望
を持ってR118からR4を走して浄土平へと、さすがに浄土平、晴
れていてAM2時までには、数枚写して、ビールを飲むために
また(わき入)、浄土平からいゆきまで下の道を通つて
2時間30分ぞした。(平均時速80km)
そしてAM5h30分までビールを飲み PM0:15分に帰る。

86 9/15~16

先週に引き続き浄土平へ行って天気が悪いのを
確認してここに来て酒を飲んでいま、
来月もまた --- ?

9/4 ~ 15

今週の中頃、君から電話があり、イヤな予感通りまた星を見に行こうという話を持ちこまれる。先週ハードスケジュールのてんまは前ページに記した通りでもうウンザリであるが、現在星を見に行く方法は君の車に頼るしかない。弱味がある私は君が星を見に行くと言いだせば、同行せざるを得ない状況なのだ。

今回も天気は良くないので、浄土平行きもあるかと予測し、山川に備えて前回持っていたかわった双眼鏡を用意し、君宅へ行く。君が厚化粧した。やはり浄土平に行くことになり、車は一路浄土平へ向けて走ったが、雷雨が途中からひどくなったし、予定より遅れ気味なので、西須野から高速に入り、浄土平へは10時30分頃着く。那、天気が悪いのを指差し確認し、15分程休んでいゆきへ向かう。という結果になる。

浄土平へはじめていった時はもうここくるのも初めて最後だなど思ったのだが、これで5回になった訳で信じられない。浄土平へ行って晴れたのはこのうち3回。浄土平は晴れるというのは1/2神話なのだ。

いゆきに2時過ぎに着き、ここもくもりなので、予定通り酒盛りをして、その後、ネル。

昼から観測所周辺のゴミかたづけをしたのですよ！皆さん気がついて下さいネ！キレイになてますんで！

山川からいろいろと話しが、コロコロかわり、今日帰るつもりでいたのが、何の因果か、もう一晩カンパシテ明日(15日)朝帰ることになる。山川は向と、入会予定の君のJP160をいゆきに置くことになり、その極軸を出す為ということで、そうなったのです。現在は三月かなのかが、シヤマになるので、私が出資してピラー仕様に変更の予定です。私のMT200鏡筒も次回持ってきて同架し、また、眼視派の人、写真派の人、どうぞご利用下さい。

川を書いている今、君と君は酒盛りをした後で、テスコ大会をしているようなので、私参加するので、おしま。川で

10月4~5日

2階の準備室から出来止、これはじめの来所。

多少せまさはあったが(40cm オセグレンが目につく...)

新しい49ミの直り、押し入れがあり、2階から1階がすけ2みえのりかすけ5しい。(当然の事ですが)

天気が良くないというが、南千住組に行くかどうか(おまかせ)とわかると、350の改良の下見もある車なので、くすまを、やはり車があり、夜は"いれさか恒例"になていた。

(先着組り強り上りは最高潮に直していた)

やはりビールは壺の下でなく、壺の下で飲むほうがうまい。今度はあつしいビールも飲もう

1986. 10. 4 ~ 5

田中

久しぶりの来所。

よいに、天気のため星は見えないが、やはり

1ヶ月に一度は来はいとどうも落ちつかない。

今日は、何日どこか来ることにはりそう。

1986. 10. 4 ~ 5

今回は何も書く気が"あこらな"なので、川に"おしま"。

1986 10 4~5 [redacted] 雨時々曇り
この悪天候の中、今日女性1人も来たので
あるうか? ---- 今日は大宴会となった。当然の時だが。

1986 10月4日~5日 [redacted]
ミラーに13cmの初雪をと思って来たが雨でが
今日は下5度。こんな雪をねえ。

P.S. と申すので「帰るのですね」思い直して引き返して来ま
した午後四時ですと3時近く。6時ですまでおりました。
気がついて外を見てもなんと晴れてはいますか。
いそいで準備して写真も写しにかかった。午後10時
で10枚ほど写すことかできた。ハニサードイキは
残っていたよかったです。これも日ごとの行なにかのせいかな。

目もりちゃんを使って天候を入れたら ~~あ~~ つかつかのみこ
めて来た。一個入れるのに5分ほどかかる。これをどれか
けちじめられるか。これみよのせいか。

1986 10 11~10.12 [redacted] (今回も悪くはない) あかり

1986 10 11~12 [redacted]
途中の道では晴れ間が見えていたのだが...
今週末もいわさ別荘ですごすことになる。

1986年10月25日(土)~26日(日)
天気 快晴 気温5°C
田中 [redacted]

下弦近くの日が山の端から登ってくるのが、ここに
やってくる途中に見えた。初め金色の雲を放っ
ていたが、高くなるにつれ白さを増し、近くの手
達を1つ1つ消していった。

ニニはす、かり 秋に変わっていた。山の雲も
今週か来週あたりが、ピークになりそう。

さて、来週は又1ぶりに2泊の予定で来れそう。
天気の良くなることを祈りつつ帰ろう。

10/26. 17:30 記

1986.11.1~11.2
(土) (日)

11月になれば久し振りに、いわさで「絶対 星が見れる」と期待して来所
したのですが、空振りに終わりました。

今回は4人で来たのですが、ニカからドライブに出かけ、その後私一人
いわさの実家へ帰ります。今日は晴れそうなので、とても残念で
すが、所用があるので、やむを得ません。

次週もくる予定なので、その時は絶対晴れてくれることを信じて
山を去ります。一人だけ先に戻立つ不幸をお許し下

観測所の皆さま

い。

以上

星旅人

1986 11 1~3

どくして いわきは晴れないか？

今年5月からオコシとである。

ヒコガク 新妻さん ^の Comm F2 Eの直借りて来てくれた
うのに結局 セブテックをして終りであった。

写真は写せばタイヤはへる一歩である。

確率から言って来週は晴れないわけはないと信じて
来週も来るゾー。

1986. 11. 2-3 天気 快晴 → 晴 → 曇 → ベテ曇

気温 9°C

田中

ゆずが 1日だけの晴れ向とやはりとらたのて
来てきた。

昼向は快晴だが、夜には、たとたん雲が増(増)
明け方まで。晴れたり曇、向りの天気。それでも
TP2415の増感処理のテストと追尾装置の
チェックはたんとか行えた。

TP2415のH₂処理は 52°C 30 時間 1.5気圧
で少々カブリ気味。もう少し落しても良い。

赤道儀の追尾はまあまあとこるたが、大気差
の影 ~~き~~ ぶりのためか、地平線付近と天頂で
かなり速度がさがす。

極軸のズレもチェックして、少々手直しした。

極軸の時日本標準時とのずれも確認した。

1986年 11月 8日 ~ 9日 屋原人

は 頭ブツツンの柳美奈子さんの歌です。

がみしたの

今回晴れ ~~て~~ と思ってきただけに (いわきで) 久しぶりの屋空行 向は
ともぬ 一安心、第2観測所を作るかという話がもちあがって
いるのに こんど晴れない時が続くと とりやめになっちゃうよ ~ 思えば
観測所のメンバーになったのは 小さい頃から天文台の銀色のドームに
憧れて 授業中なんかも ドームの絵をかいてはがりいて 大きくなっ
たり 絶対 天文台を作るんだという夢 ~~を~~ 入すくには実現出
来ないので 共同でもいっから実現させるために ^{あつて} なったのだ。

「だけと」やはり自分だけの観測所なるものは 今でも作りたいて夢み
ている。第2観測所は 新たに共同で作るので 自分だけの観測所
は 第3観測所になるのかしら。うわさによると 第3観測所は 新たに
共同で 信州方面になるという非公認情報もあるので 第4観測
所が 自分だけの観測所になるのかしらん。

いつまでも夢ばかりみていいのがと思うけど、人間は夢をみない川
は生きられない動物だから いいのでしょう。

1986 11 8~9

ヤコと半年ぶりにいわきで星が少しの間だけ見ること
ができた。これからの星見のシーズン ガンバルジー！
それと、オコシの子が二人もいると非常に楽しいものです。

11月8~9日 くもり

今回は晴 ~~れ~~ 水ないと思いいカハラは 50mm 1本のみ
で他のレンズはもってこなかった。晴れたらどうしよう
と心配？ したが、やはり撮影 出来た様子を空には
なうなかつた (おわり来た前をどり晴れたいわさうな)
今日の目的は 350の赤経 赤緯 軸の ~~部~~ 一部にヒーターを
つけて 真冬でも固く ^{する} 予定をか 道具が ^ま ないので
西方の ~~部~~ 部を捨てる方針。またまた 350赤道儀が
あわい ^に 来て して した。

1986. 11/8-9 短晴のちくもり 気温 20℃

田中

東京はベタ曇りがち。ここに来たさ 晴れ、かし
高いてからはくもり始め。明け方にはベタ曇り

今回の月食は []さんと 冬季対策用に赤外線
ヒーターを巻きつける作業のため。それと
25cmライト用の電磁シッターが完成したので。
取り付けのためにもってきたわけ。

ヒーターは []さんが持ち帰り調整してくる
ことになった。

25cmライト用の電磁シッターは露出時間の
設定はもちろん、コネクターからの接続もでき
るというすぐれもの。小島卓道精機工業の製作。

近々のスカイウォーカーに記事として出す予定。

25cmライトの2連(ツイン)計画は着々と進行
しており、今年中にはなんとか1台のものだ。

市村

1986. 11/9 (日)

夜 11時過ぎに到着。雨と風が強く とても晴れそうもないが
朝方には晴れることがあるので。とりあえず、ビール2本飲んで仮眠
3:50分ごろ眠る。まずと素晴らしい星空が広がっている。11月8
の双眼鏡で観望。しかし雲が流れてくるので、薄明よりも就寝。

11/10 (月)

先週の連休は出張でつぶれてしまったので、代休をとって来てはるほど
(人客が行く)晴れてくれているので、とても有難い。月があまりワカレ
よく見える。家でも見えているが、この星空を見ると、立ち直れない気
がする。それにしても、2階の部屋はいいですね。
突然ですが、矢部さん、お元気ですか？
私は34才になってしまった。

夜 西村さんから tel があって、新しい彗星が発見されたとのこと。
11月10日、どうだろうか。ウィルソンは見たような気が可なりけれど。

私の長年愛用していた、トヨライトエースは、ユニット・ラリスエースが
片岡さんに、9割でゆずることになりました。元気で頑張ってください
ものと思います。残るのは、三菱のミニカー一台です。早く720
を買いたいと思うのが……。

もう少し大きい字で書こうと反省。

夜中 []さんから tel。快晴だと言いつつ、(おみせのたまりか。一晩中、
快晴という気には思えないのだ、と言う。
私は晴れ男というはか！?

朝まで、茶外星雲などを観望。
暗い空の手ばらさを 実感している現在である。

5時、就寝。

11/11 (X) 朝、寝たときには、快晴であったのに、8時頃、目覚ましで雪。
前の山が隠れてしまふほど。"初雪"であった。
冬型の気圧配置のときは、よくこうなるので、それほど気にはならな
かたが、1月に入ってからは、夜も晴れないこと太多りで、
慣れている人は注意る!

昼、田中主婦の記事をたよりに、温泉へ行くことにした。
とりあえず、東横の駅前で、スノー・ジャスト・ラーメン(3本、90円)を
記念に食べた。しばらく、動けなかつたが、それよりも、子ちゃんの
視線の方が、なにか痛かった。

地図を頼りに、湯沢温泉、山形屋旅館をめぐり、
とうとう見つけた。温泉の温泉!!
しかし、誰も入っておらず、おぬるい。とてぬるい。
かたがななので、温泉の中で走っていた。
途中、おじいさんが入ってきた。
さらに、女性が入ってきた。
背中一面を自由に、内心緊張...
私の隣りに座ったのは、バスタオルを体に巻いた、おばあさんでした...

夕方、ビールを2本、飲んで、就寝。月の明ふい。

8時半に、田中さんから tel. ^{10:20}
0°C以下になるようだったら、井戸の水抜きをしておいてくわいのこと。
あまり、寒くなるさうなので、大丈夫と出うで。

月が沈むまで、何もするところがないので、ムリに寝ることにする。

11/12 (水) 1時過ぎに月の沈むので、しばらく寝-しらす。
ところが、満腹で、休んでいたら...
3時に目が覚めてみたら、満天の星。
4時半くらいまで観望あり。雲がたんで来たので、
就寝。

今日は天気恵まれた観測所行であった。
幸運に感謝!!

by. Yohini. S.

11/23 (日) - 24 (月)

15時半頃到着。快晴。22時の月の出まで
写真を撮る... はずでした。薄雲が流れて
きたので、これは中止。さてその次は
モーターのコントロールボックスの改造。速送りの
スポーツは無段階に可変でしたが、これを
X1、X4、X16、停止の4段に固定しました。
これだと共振はなく、使い易いとのこと。(田中氏評)
このボックス、我ながら実に粗末な出来、正に
"手造り"といった感じ。又、どのようにでも改造
できる。手造りバンカイ!!
一夜明けるとそこは霧の園であった。
雨が心配だ。

VT 250F

1986. 11. 23~24 天気 快晴→くもり→雨

気温 20°C 田中

下弦近くの月が後半によってくるため観測には適さないが、ギアの取り付けのためにやってくることはした。

二二夜月はものすごく良い月が続き本日も小春月よりのポカポカと一日であった。

しかし、連休のためか山内町ではなんと10中9にもお祭が大混雑。ここのことは初めてだった。

さてギアの取り付けは一部完了したもののどうも市禱軸のガムあわせがどうも良くない。ギアヘッドの改良が必要とのことで持ち帰ることになった。

350型が全く正常に動くまではまだまだかかりそう。

夕ぐせはすかすか冬景色となった。木の葉もすっかり身軽になって、冬の訪れに備えている。

市村さんにも書いているように静養するにはここは最高のところだ。(できれば1週間位欲しい)

1986. 11. 29(土) ~ 11. 30(日)

久しぶり
ド快晴

まず最初におゆび

以前に日記に書いた2階に森口氏のT3製100赤道儀をあく話はその後の状況の変化により取り止めになりましたので訂正しておゆび申し上げます。

早く2台目が入ることも期待したいと思いますが、居住性の向上もして欲しいので、どちらを優先させるかというのは非常にむづかしい問題です。予算の制約があり

今後の忘年会で今後のある程度の長期にわたった計画みたいなことが話に出ることを期待します。皆さんの意見を聞きたいものです。メンバーもその目的があって入会していると思います。その目的をいれても実現出来るようにするのが、共同観測所の使命でしょう。私は居住性重視派で(もう望遠鏡は皆さんいいものを持っているのでこれ以上当面いらぬのではと思うので)。

下の4.5畳をまず仕上げて欲しいと思っています。女性が来所した場合準備室でスミンすることは観測している人がいる場合非常に気をつかいぬべからぬのではないかと思います。あくまで準備室であるから機材の取り出しがあるし観測者が休めないかと思ひますので……。それから先は私自身共同観測所ということをよく考えた上で検討したいと思ひます。

話かいて

今回は久しぶりにド快晴のなが素晴らしい星空を眺められて満足しました。これからますます我がことにはいい季節となる訳ですが、これとは反対に大変寒くなるのでカゼなどひきせんように。これから雪も降るであろうから来所の際は充分に気をつけて来て欲しいものです。

1986年1月

日	曜	卦	天气	来所者	内容
1		☰			
2	木		晴+	市村	
3	金				
4	土	●下弦			
5	☷		晴+	市村	11-観望
6	月				
7	火				
8	水				
9	木				
10	金	●新月			
11	土				
12	☷				
13	月				
14	火				
15	☰				
16	木				
17	金				
18	土	●上弦	快晴	田中	赤道儀調整 31-1-1出
19	☷		快晴		
20	月				
21	火				
22	水				
23	木				
24	金				
25	土				
26	☷	○満月			
27	月				
28	火				
29	水				
30	木				
31	金				

1986年3月

日	曜	月齢	天気	来所者	内容
1	土				
2	日				
3	月	●下弦			
4	火				
5	水				
6	木		曇	田中	何にでもさす
7	金		快晴	田中	//
8	土				
9	日				
10	月	●新月	曇	田中	//
11	火				
12	水				
13	木				
14	金		雪		何にでもさす
15	土				
16	日			田中	ハルハル-観望 成功!!
17	月				
18	火				
19	水	●上弦	雪		
20	木		快晴	田中	高橋
21	金		降		ハルハル観望 成功!!
22	土				
23	日				
24	月				
25	火				
26	水	○満月			
27	木				
28	金				
29	土				
30	日				
31	月				

1986年2月

日	曜	月齢	天気	来所者	内容
1	土			田中	赤道儀の調整
2	日	●下弦			
3	月				
4	火				
5	水		快晴		赤外線要
6	木		快晴	根(林)	
7	金				
8	土				
9	日	●新月		田村	田村
10	月				田村
11	火				
12	水				
13	木				
14	金				
15	土		晴	田中	ハルハル-観望
16	日	●上弦	快晴	田中	結句 赤道儀の調整
17	月				
18	火				
19	水		雪	田中	ハルハル-観望
20	木				赤道儀調整
21	金				
22	土				
23	日				
24	月				
25	火	○満月			
26	水				
27	木				
28	金				
29	土				
30	日				
31	月				

1986年5月

日	曜	月	年齢	天気	来所者	内容
1	木	●	辰			
2	金					
3	土			曇		
4	日			晴	○田中 佐藤	母にもてます
5	月			曇	○田中新井	母にかかてきた(5年)
6	火			曇		母にもてます
7	水					
8	木					
9	金	●	辰			
10	土			曇	○ [redacted] 新井 [redacted]	大宴会
11	日					
12	月					
13	火					
14	水					
15	木					
16	金					
17	土	●	辰	晴	○田中	キマックホルツ他
18	日					
19	月					
20	火					
21	水					
22	木					
23	金					
24	土	○	満月			
25	日					
26	月					
27	火					
28	水					
29	木					
30	金					
31	土			曇	○田中	

1986年4月

日	曜	月	年齢	天気	来所者	内容
1	火					
2	水	●	辰			
3	木					
4	金			快晴	○市村	
5	土			快晴	○ [redacted]	お礼
6	日					
7	月					
8	火					
9	水	●	辰			
10	木					
11	金					
12	土			快晴	○ [redacted], 西村, [redacted], 田中	お礼
13	日					
14	月					
15	火					
16	水					
17	木	●	辰			
18	金					
19	土					
20	日					
21	月					
22	火					
23	水					
24	木	○	満月			
25	金					
26	土					
27	日					
28	月					
29	火					
30	水					

1986年7月

日	曜	脚	天	来所者	内容
1	火				
2	水				
3	木				
4	金				
5	土				
6	☉				
7	月	●新			
8	火				
9	水				
10	木				
11	金				
12	土		雨	田中	8cm 足折引き及け"
13	☉		下弦		
14	月	●上弦			
15	火				
16	水				
17	木				
18	金				
19	土				
20	☉				
21	月	○満			
22	火				
23	水				
24	木				
25	金				
26	土				
27	☉				
28	月				
29	火	●下弦			
30	水				
31	木				

1986年6月

日	曜	脚	来所者	内容
1	☉		田中	何口で"封"
2	月			
3	火			
4	水			
5	木			
6	金			
7	土	●新		
8	☉			
9	月			
10	火			
11	水			
12	木			
13	金			
14	土			
15	☉	●上弦		
16	月			
17	火			
18	水			
19	木			
20	金			
21	土			
22	☉	○満		
23	月			
24	火			
25	水			
26	木			
27	金			
28	土			
29	☉	●下弦		
30	月			
31	火			

1986年9月

日	曜	月	齢	天	来	所	者	内	容
1	月				!	中			
2	火								
3	水								
4	木	●	新	A					
5	金								
6	土								
7	日				!				
8	月								
9	火								
10	水								
11	木	●	上	弦					
12	金								
13	土								
14	日				!				
15	月								
16	火								
17	水								
18	木	○	満	月					
19	金								
20	土								
21	日								
22	月								
23	火								
24	水								
25	木								
26	金	●	下	弦					
27	土								
28	日								
29	月								
30	火								

1986年8月

日	曜	月	齢	天	来	所	者	内	容
1	金				!				
2	土				!				
3	日								
4	月								
5	火								
6	水	●	新	A					
7	木								
8	金								
9	土				!		西村	田	いんき観測所総会
10	日								
11	月								
12	火								
13	水	●	上	弦					
14	木				!		田		Comet Wilson 撮影
15	金				!				
16	土				!				
17	日				!				
18	月								
19	火								
20	水	○	満	月					
21	木				キ				
22	金				キ+雨		高橋(典)		
23	土								
24	日								
25	月								
26	火								
27	水	●	下	弦					
28	木								
29	金								
30	土				晴				Comet Wilson
31	日				晴				"

1986年11月

日	曜	脚	天候	来所者	内容
1	土				
2	日	●新月	晴		
3	月				
4	火				
5	水				
6	木				
7	金				
8	土				
9	日	●上弦	晴	雨	星野球影 田中祖 志道儀ハジメ
10	月				観望ニ静養
11	火				
12	水				
13	木				
14	金				
15	土				
16	日	○満月			
17	月				
18	火				
19	水				
20	木				
21	金				
22	土				
23	日				
24	月				
25	火	●下弦			
26	水				
27	木				
28	金				
29	土				
30	日				

1986年10月

日	曜	脚	天候	来所者	内容
1	水				
2	木				
3	金				
4	土	●新月	雷雨		系外星雲
5	日		曇		
6	月				
7	火				
8	水				
9	木				
10	金	●上弦			
11	土				
12	日				
13	月				
14	火				
15	水				
16	木				
17	金				
18	土	○満月			
19	日				
20	月				
21	火				
22	水				
23	木				
24	金				
25	土	下弦			
26	日		快晴		下弦ノ月夜リ 観望のみ
27	月				
28	火				
29	水				
30	木				
31	金				